

【“コロナ後”のオフィス】 ⑳ 加速する木質化・木造化 国産材の活用追い風

森林資源の活用が社会的課題となるなか、各方面で木質化・木造化が着実に進んでいる。建築資材流通大手として木材を供給する一方、木材を使った幅広い事業も展開するナイス(株)資材事業本部木材開発部の青木良篤部長に、木材需給の変遷や木質化の動きなどについて聞いた。

ただ、生産者側が、その動きに対応しきれないところがあります。木材流通をルートとする当社としては、森林資源の有効活用が重要だという視点から、スギをはじめとする国産針葉樹の無垢材を積極的に使っていくことが、脱炭素社会の構築に向けて、とても重要だと考えて取り組んでいます。

また、国民1人から年額1000円を徴収する森林環境税が2024年度から始まります。これは、これまで森林整備の財源として、森林環境譲与税というかたちで国が地方公共団体に譲与していたものですが、森林率の低い大都市部の自治体では使い道がなく、積み上がっている状況です。協定自治体の地域産材や国産材の使用を促している港区のような取り組みは例外です。活用できていない自治体が、森林環境税を使って産地を問わず木質化に取り組みケータスが今後、たくさん出てくると思います。

戸建て住宅は減っていますが、企業や自治体の木質化・木造化への取り組みは大きな潮流になるでしょう。コロナ禍で遅れていた民間のビッグプロジェクトも徐々に顕在化してきました。水面下での動きは非常に旺盛だと感じています。

また、国民1人から年額1000円を徴収する森林環境税が2024年度から始まります。これは、これまで森林整備の財源として、森林環境譲与税というかたちで国が地方公共団体に譲与していたものですが、森林率の低い大都市部の自治体では使い道がなく、積み上がっている状況です。協定自治体の地域産材や国産材の使用を促している港区のような取り組みは例外です。活用できていない自治体が、森林環境税を使って産地を問わず木質化に取り組みケータスが今後、たくさん出てくると思います。



青木良篤氏

3年に及んでいるコロナ禍ですが、木材の流通や市場にはどのような影響を与えているのでしょうか。コロナ禍によって世界の木材サプライチェーンが混乱し、需要に対する供給量が不足したことに伴い、木材価格が高騰する傾向が顕著です。また、木製家具をはじめとする木材への需要が急激に高まっていることは間違いないでしょう。

ウツドショックは、木材需要の多くを輸入材に頼ってきた日本にも影響を及ぼしました。輸入材の供給が減少し、価格も高騰したことから、代替材として国産材へのシフトが進みました。

また、国民1人から年額1000円を徴収する森林環境税が2024年度から始まります。これは、これまで森林整備の財源として、森林環境譲与税というかたちで国が地方公共団体に譲与していたものですが、森林率の低い大都市部の自治体では使い道がなく、積み上がっている状況です。協定自治体の地域産材や国産材の使用を促している港区のような取り組みは例外です。活用できていない自治体が、森林環境税を使って産地を問わず木質化に取り組みケータスが今後、たくさん出てくると思います。

戸建て住宅は減っていますが、企業や自治体の木質化・木造化への取り組みは大きな潮流になるでしょう。コロナ禍で遅れていた民間のビッグプロジェクトも徐々に顕在化してきました。水面下での動きは非常に旺盛だと感じています。

戸建て住宅は減っていますが、企業や自治体の木質化・木造化への取り組みは大きな潮流になるでしょう。コロナ禍で遅れていた民間のビッグプロジェクトも徐々に顕在化してきました。水面下での動きは非常に旺盛だと感じています。

【“コロナ後”のオフィス】 ㉑ ウッドチェンジに必要な SDGs時代の“価値観”

木質化・木造化の動きは、来年度から施行される森林環境税によって特に自治体による取り組みが厚みを増し、追い風を受けることが予想される。木質化推進のための課題とオフィス分野に向けた取り組みについて、前回は続きナイス(株)資材事業本部木材開発部の青木良篤部長に聞いた。

無垢材(Growth)はどのような材料なのか。スギやヒノキといった国産針葉樹の大径材を用いた、家具や内装材などのあらゆる用途に使用できる材料です。表面部を特に高密度化し、硬さや強度を高めて板厚を薄くしています。中心部の密度は低く保たれるため、軽量です。やわらかく傷が

無垢材(Growth)はどのような材料なのか。スギやヒノキといった国産針葉樹の大径材を用いた、家具や内装材などのあらゆる用途に使用できる材料です。表面部を特に高密度化し、硬さや強度を高めて板厚を薄くしています。中心部の密度は低く保たれるため、軽量です。やわらかく傷が

無垢材(Growth)はどのような材料なのか。スギやヒノキといった国産針葉樹の大径材を用いた、家具や内装材などのあらゆる用途に使用できる材料です。表面部を特に高密度化し、硬さや強度を高めて板厚を薄くしています。中心部の密度は低く保たれるため、軽量です。やわらかく傷が

無垢材(Growth)はどのような材料なのか。スギやヒノキといった国産針葉樹の大径材を用いた、家具や内装材などのあらゆる用途に使用できる材料です。表面部を特に高密度化し、硬さや強度を高めて板厚を薄くしています。中心部の密度は低く保たれるため、軽量です。やわらかく傷が

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

空間の木質化・木造化を進めるうえで、何が課題でしょうか。ウッドショックが収束し、一定の落ち着きを見せている世界の木材需要が旺盛になれば、再び輸入材の確保が難しい状況になることも想定されます。国産材を有効活用した木質化・木造化を進めていくことが重要で、そのためには、国産材の価値を正しく伝え、利用を促進していく必要があります。

経年変化で深まる 木の味わい

ご相談が、非常に増えてきました。その際には、基本設計の段階から調達面などについて助言しています。

— オフィス家具メーカー

SDGsを意識する時代になり、モノづくりも大量生産・大量消費からの転換が迫られています。私たちの価値観も木の経年変化を「劣化」ではなく、「味わい」として捉えるような転換が求められているのだと思います。



木質化したナイス本社会議室